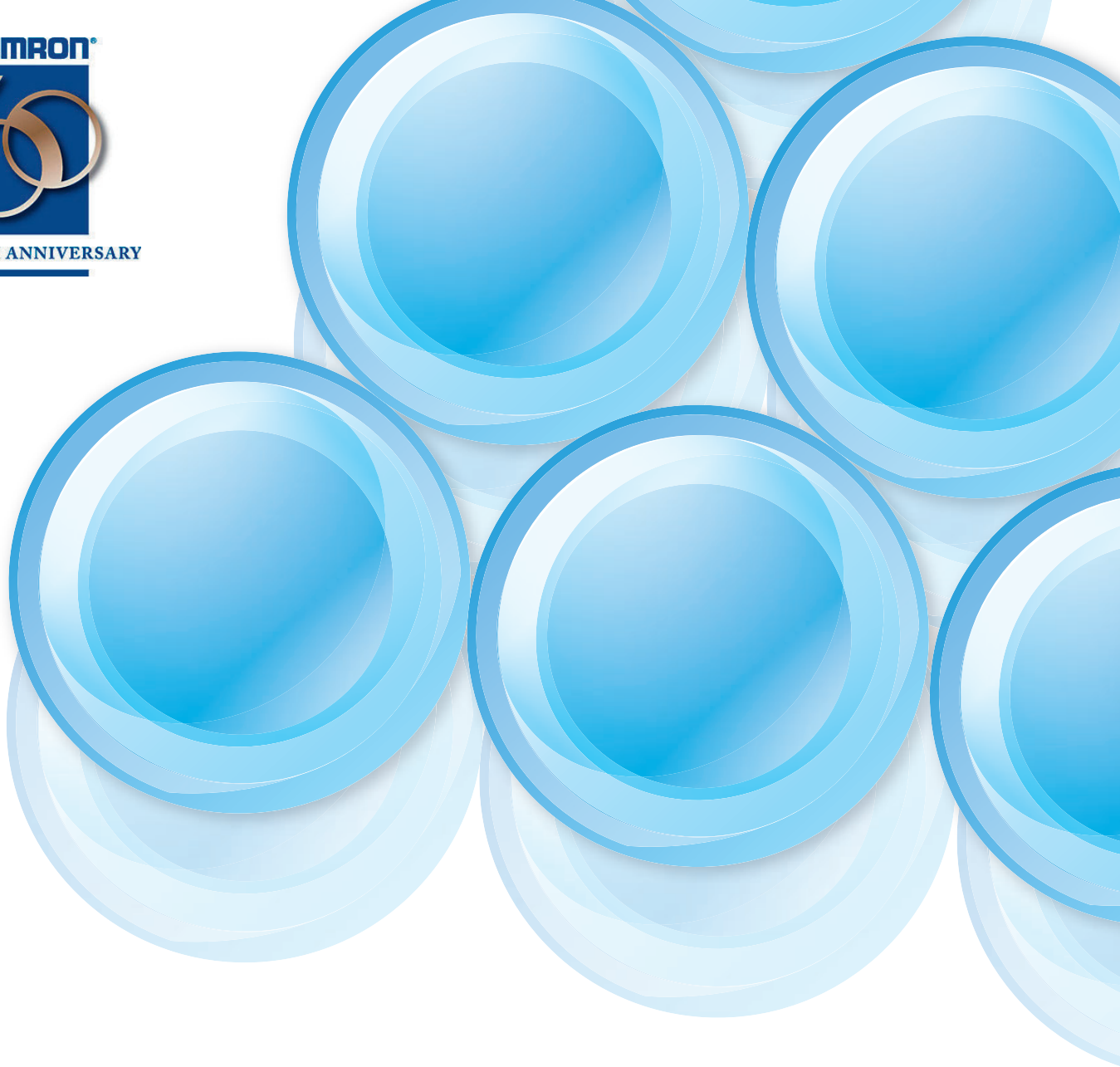




SIXTIETH ANNIVERSARY



TAMRON[®]

産業の眼を創造貢献するタムロン

第64期 中間報告書

2010年1月1日～2010年6月30日

株主の皆様へ | TO OUR SHAREHOLDERS



代表取締役社長 小野 守男

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。当社第64期上半期(2010年1月1日～2010年6月30日)の営業概況についてご報告申し上げます。

当上半期における世界経済を概観しますと、米国経済は企業部門を中心に持ち直しの動きが見られたものの、雇用減や個人消費減少等もあり、足踏み感が出てきました。欧州経済は、ギリシャ問題に端を発した信用不安から減速懸念が広がりました。中国経済は公共投資と輸出の拡大を中心に2ケタ成長を維持し、引き続き堅調に推移いたしました。

一方わが国経済は、政府による経済対策の効果や海外経済の緩やかな回復に伴う輸出の増加等により、一部に回復の兆しが見られましたが、雇用及び所得環境の回復遅れ等もあり、本格的な景気回復には至りませんでした。

当社グループ関連市場におきましては、デジタルスチルカメラは、日本・米国・欧州・アジアの主要市場全てにおいて一眼レフタイプ、コンパクトタイプともに伸び、大幅な増加となりました。

このような状況の下、当社グループの当上半期における経営成績は、全ての事業別セグメントにおいて増収増益となる等、好調に推移いたしました。その結果、売上高は255億98百万円(前年同期比18.2%増)となり、特に利益面につきましては、売上高の増加に加え、原価低減効果等もあり、営業利益23億41百万円(前年同期は営業損失29百万円)、経常利益23億52百万円(前年同期は経常損失40百万円)、四半期純利益16億10百万円(前年同期は四半期純損失6億77百万円)と大幅な増益となりました。

通期見通しについて

下半期の景気動向につきましては、欧州の財政不安に端を発した金融市場の先行き不透明感も懸念されますが、海外経済の持ち直し等により緩やかな回復基調となることが予想されます。

通期の業績見通しにつきましては、当上半期業績及び最近の業績動向や為替前提等を踏まえ、通期業績予想を修正し、売上高590億円(前期比18.3%増)、営業利益54億円(前期比135.3%増)、経常利益52億円(前期比129.7%増)、当期純利益35億円(前期比444.7%増)を見込んでおります。

※本見通しにおいては、為替レート1米ドル=90円、1ユーロ=110円を前提としております。

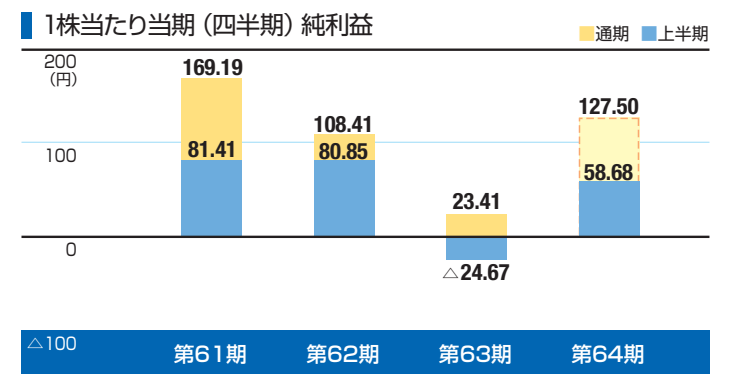
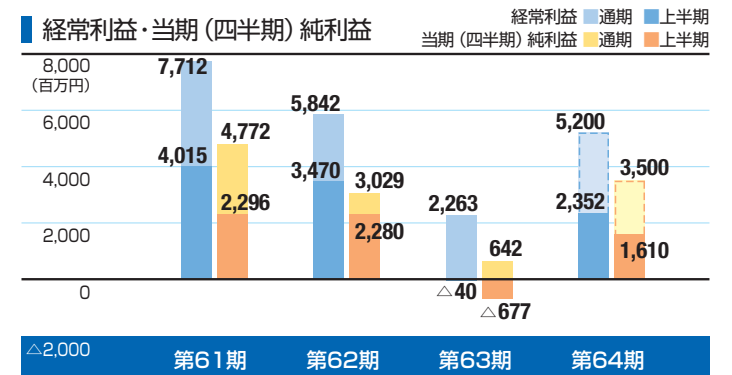
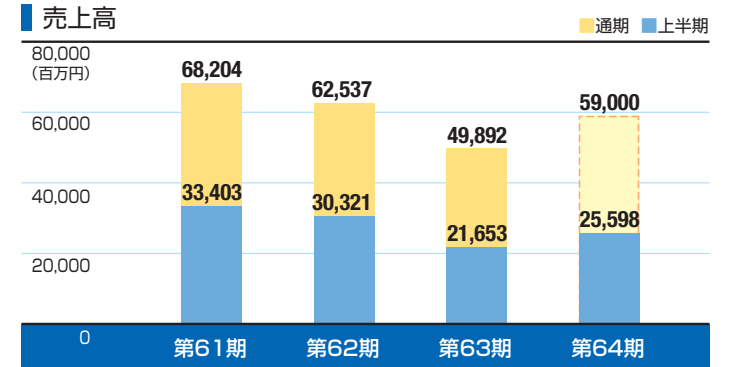
配当金について

中間配当金につきましては、当上半期業績や財務状況等を総合的に勘案し、前期比5円増配となる1株につき20円とさせていただきます。

当社は、おかげさまで、本年11月1日に創業60周年を迎えることになりました。

株主の皆様におかれましては、これからも引き続きご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2010年9月吉日



CONTENTS

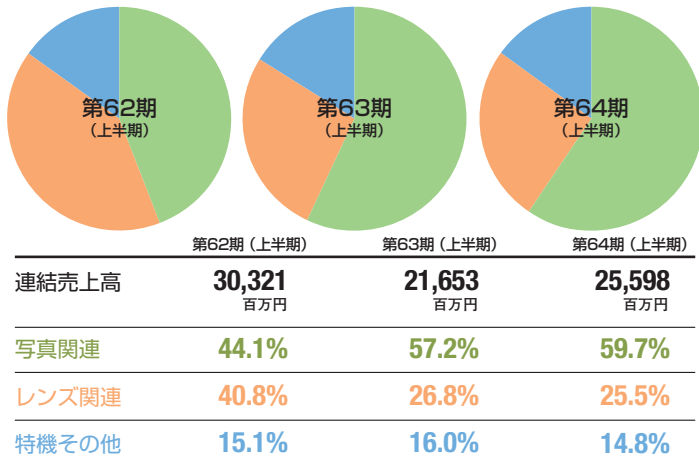
- 株主の皆様へ 1・2
- セグメント別事業の概況 3・4
- 創業60周年特集 5・6
- フォーカス! 7・8
- 上半期トピックス一覧 9・10
- 連結財務諸表 11・12
- 会社概要 13・14
- 第3回タムロン鉄道風景コンテスト 裏表紙



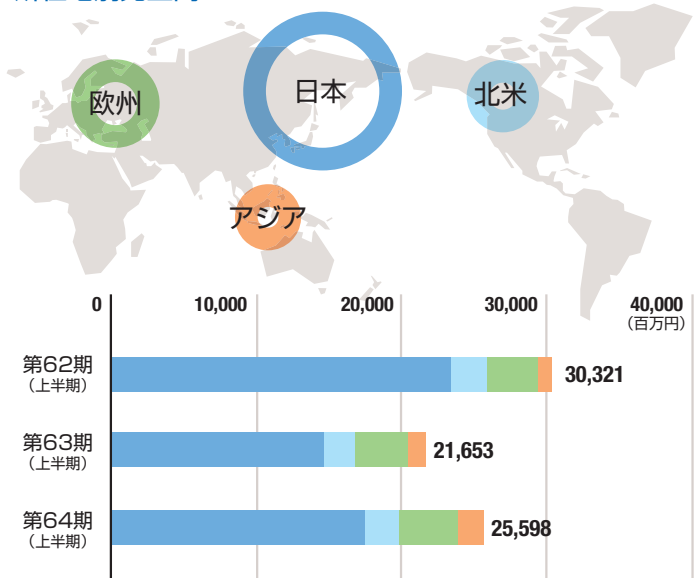


セグメント別事業の概況 | BUSINESS SEGMENT

連結売上高構成比較



所在地別売上高



写真関連事業

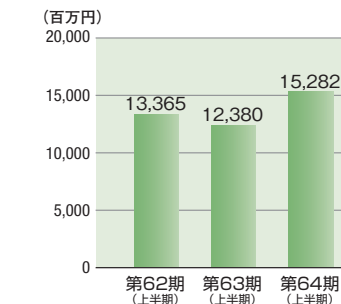


デジタル一眼レフカメラ用交換レンズ

写真関連事業は、好調なデジタル一眼レフカメラ市場を背景に、自社ブランド製品は主力商品である高倍率ズームレンズが引き続き売上を牽引したほか、大口径標準ズームレンズも好調を維持、またOEM関連も大幅な増収となったことから、上期実績としては過去最高の売上高を達成いたしました。

このような結果、写真関連事業の売上高は152億82百万円(前年同期比23.4%増)となり、営業利益は19億25百万円(前年同期比102.5%増)となりました。

写真関連事業売上高



レンズ関連事業

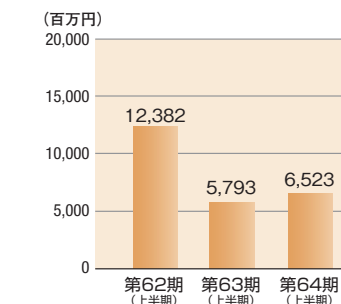


デジタルカメラ用レンズ・ビデオカメラ用レンズ

レンズ関連事業は、コンパクトデジタルカメラ市場の回復もあり、得意先の販売が好調となったことで、レンズ関連事業主力の中高級機種向けコンパクトデジタルカメラ用レンズユニットの売上が好調に推移した結果、増収となりました。また、利益面では原価低減効果や製品ミックスの改善等により大幅な増益となりました。

このような結果、レンズ関連事業の売上高は65億23百万円(前年同期比12.6%増)となり、営業利益は9億81百万円(前年同期は営業損失2億93百万円)となりました。

レンズ関連事業売上高



特機その他事業

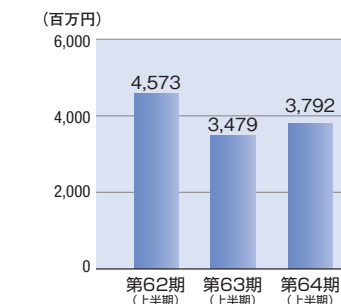


監視カメラ用レンズ

特機その他事業は、主にCCTVカメラ用レンズが設備投資等の回復に伴い増収となりました。また、セキュリティ分野の高画素化、高感度化に対応するIR対応大口径1/3型バリアフォーカルレンズや、メガピクセル・IR対応1/3型バリアフォーカルレンズを開発いたしました。

このような結果、特機その他事業の売上高は37億92百万円(前年同期比9.0%増)となり、営業利益は4億21百万円(前年同期比69.4%増)となりました。

特機その他事業売上高





高倍率ズームのパイオニア

タムロンは高倍率を開発して18年目を迎え、他社に先駆け商品開発を行ったパイオニア

「高倍率ズームのパイオニア」タムロンは、小型・軽量化した高倍率ズームの新商品を1992年に他社に先駆けこの世の中に送り出しました。1992年の7.1倍ズームの開発から始まり、1999年に10.7倍、2007年に13.9倍、そして2008年に15倍へと着実に高倍率ズームを進化させてきたタムロン。その革新的な高倍率技術を結集させて、今後も更なる進化を遂げていきます。



“高倍率ズームとは”

広大な風景を収めたり（広角）、遠くの被写体を引き寄せる（望遠）など、数本分の機能が1本に集約された非常に便利なレンズです。タムロンの最新の高倍率ズームは、世界最高倍率「15倍」を誇り、手ブレ補正機構も搭載し、ほとんどのシーンが撮影可能です。

持ち運び・レンズ交換の手間がなく、大事なシャッターチャンスも逃しません！



創業から60年 その蓄積された技術力は高い評価を得ています

欧州にて権威あるEISAアワードにて、当社は現在、2006年から5年連続受賞!!
過去19年で12度の受賞を誇ります。

EISAアワード受賞歴

受賞年	商品名	受賞画像
1992-1993	SP AF35-105mm F/2.8 Aspherical (Model 65D)	
1993-1994	AF28-200mm F/3.8-5.6 Aspherical (Model 71D)	
1997-1998	SP AF90mm F/2.8 Macro [1:1] (Model 72E)	
1999-2000	AF28-300mm F/3.5-6.3 Aspherical [IF] Macro (Model 185D)	
2000-2001	AF28-200mm F/3.8-5.6 Aspherical-IF SuperII (Model 371D)	
2002-2003	AF28-300mm Ultra Zoom XR F/3.5-6.3 LD Aspherical [IF] Macro (Model A06)	
2003-2004	SP AF28-75mm F/2.8 XR Di LD Aspherical [IF] Macro (Model A09)	
2006-2007	SP AF17-50mm F/2.8 XR Di LD Aspherical [IF] (Model A16)	
2007-2008	AF18-250mm F/3.5-6.3 Di II LD Aspherical [IF] MACRO (Model A18)	
2008-2009	AF28-300mm F/3.5-6.3 XR Di VC LD Aspherical [IF] MACRO (Model A20)	
2009-2010	AF18-270mm F/3.5-6.3 Di II VC LD Aspherical [IF] MACRO (Model B003)	
2010-2011	SP 70-300mm F/4-5.6 Di VC USD (Model A005) →詳細は7ページ	

今後も連続受賞を目指します

“『EISAアワード』賞とは”

欧州の主要19ヶ国、約50の著名な写真・映像・音響・モバイルエレクトロニクス関係専門誌の編集長と技術主幹で構成されるEISA (EUROPEAN IMAGING AND SOUND ASSOCIATION) が、年間で最優秀と認める写真、オーディオ、ビデオの分野別製品に対して授ける賞です。

タムロン創業60周年記念モデル新発売
～5年連続 EISAアワード受賞!!～



新技術を投入したプレミアム望遠ズーム

『SP 70-300mm F/4-5.6 Di VC USD (Model A005)』
を新発売

特殊硝材「XLD」*1の採用でクラス最高レベルの高画質を実現。
超音波モーター「USD」*2と手ブレ補正「VC」を搭載した35mm判フルサイズ対応、プレミアム望遠ズームレンズ。



ニコン用：2010年8月26日発売
(キヤノン用、ソニー用は順次発売予定)
希望小売価格：60,000円(税込 63,000円)

35mm判フルサイズ一眼レフカメラに装着すると、中望遠70mmから300mmの本格望遠域をカバーする望遠ズームレンズとして使え、APS-Cサイズ相当のデジタル一眼レフカメラでは109mmから465mm相当の超望遠域までも捉えるズームレンズとして様々なユーザーの方々にご使用いただけます。

特殊硝材 XLDレンズを採用し、的確に色収差を補正することによって、シャープでコントラストの高い描写性能を実現しています。

さらに、望遠ズームが活躍する各種スポーツやイベント、鉄道や航空機などの動きの速い被写体の撮影時における合焦性能を高めるために、タムロンとして初の超音波モーター「USD」を搭載しました。そして、高い評価を得たタムロン独自開発の手ブレ補正機構「VC」の搭載により、ブレやすい望遠域での撮影に加え、夕景、夜景などの低照度下においても手持ち撮影を可能とし、撮影の自由度を飛躍的に高めています。

タムロンの技術力を集結して、「クラス最高レベルの高画質」「超音波モーター」「手ブレ補正機構」を備えた、完成度の高い70-300mm望遠ズームレンズを実現しました。

(※1) 「XLD」(Extra Low Dispersion) レンズ。「LD」(Low Dispersion-異常低分散) レンズより、さらに色収差の補正能力が高い特殊硝材。
(※2) 「USD」(Ultrasonic Silent Drive) タムロン開発の超音波モーター。

このプレミアム望遠ズームレンズが、『EISA アワード/European Zoom Lens 2010-2011』を受賞し、2006年度より5年連続受賞の快挙を達成いたしました。



■EISAアワード受賞の理由

SP70-300mmF/4-5.6 Di VC USDは、極めてコンパクトで使い勝手の優れたズームレンズです。その特長として何よりも素晴らしいのは35mm判フルサイズでありながら、中判カメラを彷彿とさせるような鋭い切れ味の画質を実現していることでしょう。無音に近いオートフォーカスシステムは、一般撮影のみならず野生生態撮影用としても理想的なレンズにしています。それと同時にすばらしい手ブレ補正は低照度下であっても、容易にシャープでディテールを写し取ることを可能にしています。

一眼レフカメラの機能を利用し、写真撮影をより一層楽しみましょう!

カメラについているダイヤル、いつもオートプログラムモードで撮っていませんか?
これからは脱プログラムモード! ダイヤルに表示されている機能を活用し、撮影に生かしてみましょう!

■絞り、F値について

絞りってなあに?どんな違いがあるの?
～カメラの絞り優先モードを使って撮る～

「絞り」とはレンズの中にある光の量を調節する部分のことです。絞りを調節することで、写真のボケをコントロールすることができます。カメラのダイヤルにあるA (Av) モードとはこの絞り調節を優先に設定してくれるモードです。

絞りはF値という数値で表記し、50mmF1.4というレンズなら、1.4、2.8、4、5.6、というように表示されます。数値が小さい程被写界深度^(※)が浅く、ピントを合わせた部分のみがシャープに描写され、背景がボケます。逆に数値が大きいく程、被写界深度が深くなり、背景までピントの合った写真が撮れます。

ちなみに、F値のFは、焦点という意味の「focus」(学術的にはfocal) の頭文字です。

■シャッタースピードについて

シャッタースピードってなあに?どうやって使うの?
～カメラのシャッタースピード優先モードを使って撮る～

シャッタースピードとは、シャッターボタンを押して、シャッターが閉じるまでの速度をいいます。シャッタースピードを調節することで、肉眼では見ることが出来ない写真表現が可能となります。カメラのダイヤルにあるS (Tv) はこのシャッタースピードを優先に設定してくれるモードです。

シャッタースピードの選択は、レンズの焦点距離に比例します。たとえば28mmレンズであると1/30秒、100mmレンズであると1/125秒、さらに200mmレンズでは1/250秒のように1/焦点距離くらいであれば手持ち撮影でブレることはないと言われています。

このシャッタースピードの効果を生かした「流し撮り」という技法は、遅いシャッタースピード設定で被写体を止めて背景を流すことを言います。逆にブレないようにとシャッタースピードを速くすると被写体も背景も静止し、一瞬を捉えることができます。



50mm相当 (35換算75mm相当)、絞り開放の状態撮影。背景がボケて被写体を浮き上がらせることができました。
F4.5 1/250秒 ISO1600
絞り優先オート
タムロンAF18-270mm



F25まで絞り込めば被写界深度が深くなり、背景の植物の形状まではっきり見えています。
F25 1/8秒 ISO1600
絞り優先オート
タムロンAF18-270mm



スローシャッターで被写体を追いかける撮影方法で、被写体を静止させ背景を流します。子どもや犬が走ってる姿を、流し撮りで決めても良いかも知れませんが。
F20 1/15秒 ISO200
絞り優先オート
タムロンAF17-50mm



スローシャッター設定で水の流れを滑らかに撮影してみました。
F32 1/50秒 ISO1600
絞り優先オート
タムロンAF18-270mm



滝や渓流の水の流れを速いシャッタースピードで撮影すると、静止してしまい流れると言うイメージが薄らいでしまいます。
F6.3 1/1000秒 ISO1600
絞り優先オート
タムロンAF18-270mm

(※) 被写界深度とは写真のピントが合っているように見える領域の広さのことを言い、絞り値 (F値) が大きいほど、被写体を中心に前景に1背景に2の割合で被写界深度は深く広がります。撮影モードをオートやプログラムのままで撮影していると見逃してしまいがちですが、被写界深度の効果は絶大で、写真の仕上がりに大きな変化をもたらします。

PRODUCTS

監視カメラ

- IR対応 大口径 1/3型 パリフォーカルレンズ 3.0-8mm F/1.0 (Model 13VM308ASIRII / 13VG308ASIRII) 開発発表



- メガピクセル-IR対応 1/3型 パリフォーカルレンズ2.8-8mm F/1.2 (Model M13VM288IR / M13VG288IR) 開発発表



6 June

5 May

4 April

3 March

2 February

2010年 1 January

PRODUCTS

交換レンズ

- SP 70-300mm F/4-5.6 Di VC USD (Model A005)を開発発表



OTHERS

- 「第7回タムロンマクロレンズフォトコンテスト」実施 (応募期間:3/11~10/30) 2011年1月下旬発表予定

PRODUCTS

新規事業 ※詳細は10ページをご覧ください。

- 魚眼レンズ搭載 水平画角180度全方位監視カメラ開発発表
- 防振機構VC搭載 遠赤外線カメラ用ズームレンズ(2機種)開発発表

PRODUCTS

監視カメラ

- メガピクセル対応 一体型監視用防振機構VC搭載 超高倍率55倍ズームレンズ 開発発表

OTHERS

- 「第3回タムロン鉄道風景コンテスト」実施 (応募期間:5/1~8/14) 9月下旬発表、10/14写真展開催予定

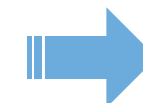
魚眼レンズ搭載 水平画角180度全方位監視カメラ開発

商品特徴

- ・ 水平画角180度で全方位監視 → 死角のない画像
- ・ カメラを動かす機構不要 → 小型化・高信頼性
- ・ 最新の画像処理技術 → 画像の歪み補正



【補正前の画像のイメージ】



歪みを補正

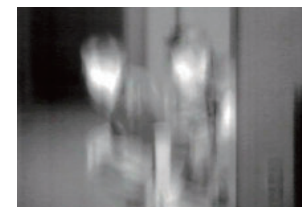
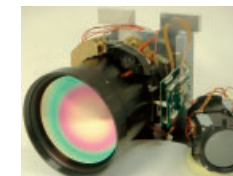


【補正後の画像のイメージ】

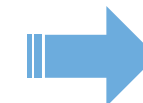
遠赤外線カメラ用ズームレンズ開発

商品特徴

- ・ 独自防振機構搭載 → ブレのない鮮明画像
- ・ 他社技術との融合 → 有力企業とのアライアンスにより遠赤外線カメラの新規分野を開拓



【防振機構VCオフ時の画像イメージ】



【防振機構VCオン時の画像イメージ】

連結財務諸表 | FINANCIAL STATEMENTS

連結貸借対照表(要旨)

(単位:千円)

区分	当第2四半期 2010年6月30日 現在	前期 2009年12月31日 現在
〔資産の部〕		
① 流動資産	33,709,817	30,530,662
② 固定資産	16,184,652	16,861,268
資産合計	49,894,469	47,391,931
〔負債の部〕		
③ 流動負債	13,449,506	11,904,151
④ 固定負債	3,440,201	2,558,425
負債合計	16,889,708	14,462,576
〔純資産の部〕		
株主資本	35,101,171	34,176,809
評価・換算差額等	△2,096,411	△1,247,455
⑤ 純資産合計	33,004,760	32,929,354
負債純資産合計	49,894,469	47,391,931

連結損益計算書(要旨)

(単位:千円)

区分	当第2四半期 自2010年1月1日 至2010年6月30日	前第2四半期 自2009年1月1日 至2009年6月30日
売上高	25,598,845	21,653,599
売上原価	17,037,795	15,887,156
売上総利益	8,561,049	5,766,443
販売費及び一般管理費	6,219,915	5,795,844
営業利益(△損失)	2,341,133	△29,401
営業外収益	95,370	117,334
営業外費用	83,863	128,390
経常利益(△損失)	2,352,640	△40,457
特別利益	1,718	5,997
特別損失	-	1,130,776
税金等調整前四半期純利益(△損失)	2,354,358	△1,165,236
法人税等	743,621	△488,116
四半期純利益(△損失)	1,610,737	△677,120

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:千円)

区分	当第2四半期 自2010年1月1日 至2010年6月30日	前第2四半期 自2009年1月1日 至2009年6月30日
⑥ 営業活動によるキャッシュ・フロー	2,156,542	1,117,359
⑦ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,438,681	△1,130,018
⑧ 財務活動によるキャッシュ・フロー	365,978	△598,843
現金及び現金同等物に係る換算差額	△341,724	202,399
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	742,114	△409,103
現金及び現金同等物の期首残高	11,887,019	10,752,065
⑨ 現金及び現金同等物の四半期末残高	12,629,134	10,342,961

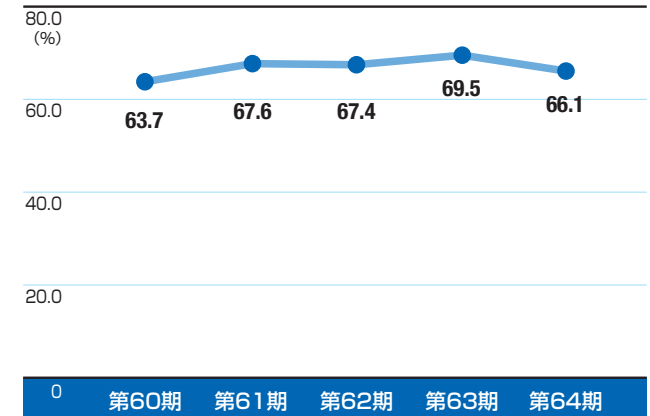
当第2四半期のポイント POINT

- ⑥ 税金等調整前四半期純利益が23億54百万円、減価償却費が15億31百万円となった一方、売上債権の増加額が32億72百万円となったこと等によるものであります。
- ⑦ 有形固定資産の取得による支出が14億2百万円となったこと等によるものであります。
- ⑧ 長期借入れによる収入が16億92百万円となった一方、配当金の支払いによる支出が6億85百万円、長期借入金返済による支出が6億40百万円あったこと等によるものであります。
- ⑨ 前期末に比ベ7億42百万円増加しました。

当第2四半期のポイント POINT

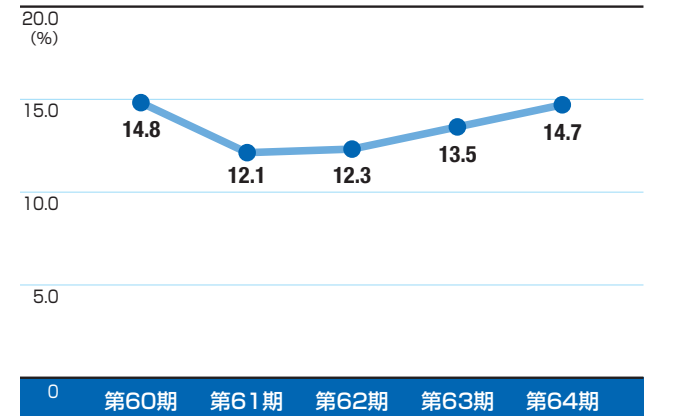
- ① 現金及び預金が7億42百万円、受取手形及び売掛金が28億12百万円、仕掛品が11億32百万円それぞれ増加したこと等により、前期末に比べて31億79百万円増加しました。
- ② 有形固定資産が1億85百万円減少したことや無形固定資産が2億30百万円減少したこと等により、前期末に比べて6億76百万円減少しました。
- ③ 未払費用が増加したこと等により、前期末に比べて15億45百万円増加しました。
- ④ 長期借入金が増加したこと等により、前期末に比べて8億81百万円増加しました。
- ⑤ 利益剰余金が増加したこと等により、前期末に比べて75百万円増加しました。自己資本比率は、前期末に比べて3.4ポイント減少し、66.1%となりました。

自己資本比率の推移



※第64期は6月30日現在で算出

借入金依存度の推移



※第64期は6月30日現在で算出

会社概要 2010年6月30日現在

商号	株式会社タムロン
創業	1950年11月1日
設立	1952年10月27日
本社	埼玉県さいたま市見沼区蓮沼1385番地
資本金	69億23百万円
従業員数	5,899名(連結)

役員 2010年6月30日現在

代表取締役社長	小野 守男
取締役副社長	河野 昭二
取締役副社長	太田 均
取締役副社長	白井 義博
専務取締役	長島 久明
専務取締役	川合 喬
常務取締役	関 廣司
常務取締役	新井 宏明
取締役	志村 忠寛
取締役	鱒坂 司郎
取締役	大瀬 英世
常勤監査役	大川 清司
常勤監査役	益子 幸雄*
監査役	富吉 紀夫*
監査役	西本 恭彦*

*社外監査役

品質マネジメントシステム企業登録 ISO 9001 取得
 タムロンは、国際的な品質マネジメントシステムの規格、ISO9001に適合認定されています。

環境マネジメントシステム企業登録 ISO 14001 取得
 タムロンは、地球環境対策にも積極的に取り組んでいます。

株式の状況 2010年6月30日現在

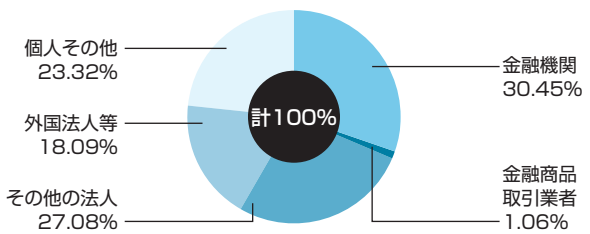
発行可能株式総数	80,000,000株
発行済株式の総数	28,235,000株
単元株式数	100株
株主数	8,020名 ※単元未満除く

大株主(上位10名) 2010年6月30日現在

株主名	所有株式数(千株)	持株比率(%)
株式会社ニューウェル	4,898	17.34
ソニー株式会社	3,129	11.08
株式会社宏友興産	1,529	5.41
株式会社埼玉りそな銀行	1,122	3.97
ステートストリートバンク アンド トラストカンパニー (常任代理人 株式会社みずほ コーポレート銀行)	1,108	3.92
ザチェースマンハッタンバンク エヌエイロンドン (常任代理人 株式会社みずほ コーポレート銀行)	1,080	3.82
日本マスタートラスト信託銀行株式 会社(信託口)	731	2.59
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	630	2.23
ザチェースマンハッタンバンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニバス アカウ ント (常任代理人 株式会社みずほ コーポレート銀行)	579	2.05
タムロン協力会社持株会	461	1.63

注) 1. ソニー株式会社の所有株式数3,129千株は、みずほ信託銀行株式会社へ委託した信託財産であります。信託約款上、議決権の行使並びに処分権については、ソニー株式会社が指図権を留保しております。
 2. 上記の他に、当社が所有している自己株式784千株(発行済株式総数に対する所有株式数の割合2.77%)があります。

株式所有者別分布 (単元未満除く)



株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
基準日	定時株主総会 毎年12月31日 期末配当 毎年12月31日 中間配当 毎年6月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-78-2031(フリーダイヤル) ※取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店並びに日本証券代行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
公告方法	電子公告 ※ただし、電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 当社ホームページ http://www.tamron.co.jp

- お知らせ
- 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。
 - 未払配当金の支払について
株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

ホームページのご紹介

当社ホームページでは、事業内容をはじめ、商品のご紹介からIR情報に至るまでの様々な情報を掲載しています。ぜひご利用ください。

主な掲載コンテンツ

- 企業情報
- 製品情報
- お問い合わせ
- CSRへの取り組み
- 採用情報
- IR情報

タムロン・フォトサイト
写真の様々な楽しみをご紹介します。ぜひご覧ください。

タムロン・プロニクラブ
はこちらから

株主の皆様へ
インターネットでアンケート!!

当社は、株主の皆様のお声を伺うため、アンケートを実施いたします。お手数ですが、下記の方法にてご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<http://www.e-kabunushi.com>
 アクセスコード 7740
 いいかぶ 検索

Yahoo!、MSN、exciteのサイト内にある検索窓に、
 いいかぶ と4文字入れて検索してください。

空メールによりURL自動返信
 kabu@wjim.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)
 アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。
 ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」
 TEL: 03-5777-3900 (平日10:00~17:30)
 MAIL: info@e-kabunushi.com

※本アンケートは、株式会社エーツメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツメディアについての詳細<http://www.a2media.co.jp>)
 ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

タムロン トップページ

投資家の皆様へ
財務情報や、IR関連ニュースはこちらをご覧ください。

CSRへの取り組み
社会・環境への取り組みについて詳しくはこちらをご覧ください。

第3回タムロン鉄道風景コンテスト

鉄道のまち大宮(さいたま市)に本社を置く企業として、さいたま市、さいたま市教育委員会、さいたま商工会議所のご後援をいただき、地域の活性化と鉄道文化の振興に貢献することを目的として「タムロン鉄道風景コンテスト」を今年も開催いたします。このコンテストは鉄道の風景写真を通して、全国の鉄道ファンのみならず、一般の方々にも写真の楽しさを広く知っていただきたく、「一般の部」の他に「小・中・高校生の部」を設けておりますので、ご家族でのご参加なども可能です。



第2回大賞受賞作品
(一般の部:さいたま市長賞)
竹下 康男 様 作品「ガード下」



第2回大賞受賞作品
(小・中・高校生の部:さいたま商工会議所会頭賞)
尾形 美海 様 作品「ラブレター」

コンテスト概要

応募規定

鉄道風景写真、鉄道のあるスナップ写真など、鉄道とその周辺を入れ込んだ写真

応募期間

2010年5月1日(土)~8月14日(土)

応募期間は終了しました。

沢山のご応募ありがとうございました。

結果発表

2010年9月下旬

入賞作品写真展のお知らせ

第3回タムロン鉄道風景コンテスト「私の好きな鉄道風景ベストショット」入賞作品写真展をそごう大宮店にて開催いたします。

皆様にご応募いただいた力作をぜひご覧ください。

入賞作品写真展

時期・場所 2010年10月14日(鉄道の日)~そごう大宮店

入場料 無料

後援 さいたま市 さいたま市教育委員会 さいたま商工会議所

協力 そごう大宮店 レイル・マガジン

主催・お問い合わせ 株式会社タムロン 鉄道風景コンテスト事務局

電話:03-3251-3860 FAX:03-3251-3863

株式会社タムロン

〒337-8556

埼玉県さいたま市見沼区蓮沼1385番地

TEL 048-684-9111 (代)

FAX 048-683-8289

<http://www.tamron.co.jp>

■IR情報関連に関するお問い合わせ
経営企画室

TEL 048-684-9114 (午前9:00~午後5:20)

FAX 048-683-8282

e-mail : kabushiki@tamron.co.jp



ミックス品

FSC認証林及び管理された
森林からの製品です。
www.fsc.org Cert no. SGS-COC-002499
© 1996 Forest Stewardship Council